

< 一般社団法人 佐賀県作業療法士会 運営会議 議事録 >

日時：平成 26 年 1 月 14 日（火）19：00～21：00

場所：アイスクエアビル 会議室にて

出席：倉富会長、山口副会長、小池副会長、江渡、前田、川辺、原、上城、藤原、佐藤、村岡、堀、米田、鶴田、
本山、島ノ江、熊谷（17 名）

・ 報告事項

1. OT 協会関連

- 1) 第 3 回災害リハビリテーションコーディネーター研修会（別紙資料 参照）
平成 25 年 12 月 21 日（土）～22 日（日）川辺事務局長を派遣

2. 九州士会長会関連

- 1) 第 3 回九州地区作業療法士会士会長会議

- ・ 日時：平成 26 年 2 月 8 日（土） 12：00～14：00
- ・ 会場：i スクエア 市民活動センター
九州 PT・OT 合同学会関連報告
九州作業療法士会会長主催「合同研修会」内容報告
日本作業療法士協会および連絡協議会関連 報告および検討
平成 26 年度事業予定「今後の九州士会長会主催研修会の内容について」
平成 25 年度決算報告

- 2) 九州県士会長主催研修会

- ・ 期日：平成 26 年 2 月 8 日（土）～9 日（日）
- ・ 場所：i スクエア 市民活動センター（佐賀市駅前中央 1 丁目 8-32）
- ・ 派遣予定者：野崎 忠幸 OTR（佐賀県医療センター好生館）
- ・ 研修会担当：松尾 OTR（白石共立病院）、植村 OTR（山口病院）

現在までの県内士会員の申込が非常に少なく、開催県としては厳しい状況です。そこで、本研修に参加した事のない先生方には是非ご参加いただきたく、また、職場内でもご広報頂き、参加者増のご協力をお願いしたいと思います。申込先は山口病院の植村先生になっております。詳細に関しては松尾先生にもお問い合わせいただけます。

3. 県士会関連

- 1) PT・OT・ST 士会合同の訪問リハビリテーション研修会

1 回目 期日：平成 26 年 2 月 9 日（日）場所：佐賀県医療センター好生館（佐賀市嘉瀬町大字中原 400）

2 回目 期日：平成 26 年 2 月 23 日（日）場所：佐賀県医療センター好生館

- ・ 予算：20 万円。PT 会、OT 会、ST 会 6：3：1 の比率で出資。OT 県士会 6 万円
- ・ 当日対応者：実行委員 + 3 名（受付・接待・会場係）
- ・ 懇親会：2 月 8 日（土）懇親会参加者募集中。

参加者が少ない状況であるため、参加者増のご協力をお願いしたい。

- 2) 合同学会準備委員会

- ・ 平成 24 年 12 月 4 日 第 1 回会議開催、その後月 1 回のペースで開催
- ・ 開催日程：平成 26 年 11 月 22 日（土）～23 日（日）佐賀市文化会館

・合同学会の運営について（合同士会長会議）

学会運営をこれまで任意の団体として実施してきた。

学会に対して課税されるケースが増えてきている。

合同学会も対策が必要

学会名「九州理学療法士・作業療法士合同学会 2014」

主催：公益社団 日本理学療法士協会九州ブロック会

一般社団 日本作業療法士協会九州各県士会

主管：九州理学療法士・作業療法士合同学会（事務局：鹿児島県理学療法士協会事務局内）

・運営スタッフの募集（期間中に協力してくれるスタッフ）

参加費は不要（発表者は参加費要。また生涯教育ポイント取得のためには参加費必要）。

日当、交通費を支払う予定。

3) 佐賀県在宅生活サポートセンター関連

介護ロボット普及事業（テクノエイド協会主催 平成 25 年 10 月～平成 26 年 3 月）

平成 26 年 2 月 17 日（月）研修会開催 13：30～15：30（佐賀市保健福祉会館：ほほえみ館視聴覚室）

車いすシーティング講座 2 月 16 日（日）10：00～16：00（佐賀県駅北館）

講師：山崎 泰広氏（順天堂大学 医学部整形外科学講座 非常勤講師）

今回を含め 3 回構成で行う予定。シーティングのエキスパートを OT 県士会から作りたい。

前日 2 月 15 日（土）講師を囲み懇親会予定。

建替え計画 平成 27 年 4 月 オープン予定

来年度の事業計画 リハビリ工房（自助具等の製作、福祉用具の製作実技 講師派遣）

今年度は井手先生に受けてもらっているが、次年度に向けては OT 県士会から講師を派遣していきたい。

嘱託作業療法士（現在、1 名。もう 1 人応募している。週に 1～2 日程度の勤務）

4) 佐賀リハビリテーション研究会

・理事会 1 月 28 日、評議委員会 3 月 17 日

・春の佐賀リハ研 4 月 12 日（土）に開催される、多くの会員の参加を求む。

5) がんリハ研修会

・平成 26 年 2 月 22 日（土）～23 日（日） 佐賀大学医学部附属病院

・佐賀県士会から嬉野医療センター 山口 みずほ OTR を推薦

6) 佐賀県健康増進課障害福祉課

・佐賀県立地域生活リハビリセンターに付属して、高次脳機能障害者へ通所介護サービスを平成 26 年 4 月から計画した。週に 3 日働いてくれる作業療法士を紹介してほしいと依頼あり。

7) 佐賀県医師会より「佐賀県医師会在宅医療連携拠点事業連絡会議の委員の推薦依頼あり

・理事会で協議し、米田地区担当委員へ依頼。米田地区担当委員から了解が得られたので医師会へ推薦。

・協議事項

1. 県士会関連

1) 平成 26 年度 役員人事及び事業計画

・組織図

・各部局の事業計画

・予算計画

・役員人事（立候補者含め案） の順で総会を行う。

2) 予算総会

- ・日時：平成 26 年 3 月 11 日（火）19：00～19：30。会場：アバンセにて。
多くの会員の参加をお願いしたい。

3) PT・OT 合同学会運営スタッフの決起集会及び懇親会

- ・4 月 26 日（土）合同学会運営委員の顔合わせを兼ね、決起集会及び懇親会を開催予定
- ・懇親会へ県士会から助成できないか。会員一人に 1,000 円。

・各部局からの報告

1) 学術局（江渡学術局長より報告）

協賛研修について

今年度の協賛研修はなしとする。各研修会に所属する県士会会員の会費納入が確認できず。
今年度の士会長裁量ポイントの申請手続きを行う。活動報告を学術局まで提出を。

領収書について

現在、領収書のフォームが県士会内でもそろっていない。フォームを統一していく必要がある。財務部と相談検討していき、平成 26 年 4 月 1 日からは書式を整え使用していく方向で進める。

2) 学術部（前田学術副部長より報告）

第 49 回学術研修会について

- ・日程：平成 26 年 3 月 9 日（日）。武雄市文化会館。テーマは発達領域。講師は古野優子 OTR（北九州市立総合領域センター）と小倉南支援学校の樋口陽子主幹教諭。参加者は OT 会員以外の他職種（学校教諭や家族など）も対象にしており、現在広報手段を検討中（STS などにも広報依頼中）。広く県内の教員や保護者などにも呼び掛ける。

第 50 回学術研修会について

- ・日程：平成 26 年 7 月 13 日（日）。東西松浦地区担当。テーマは精神科の地域支援、地域移行（訪問）などを思案中。講師案は行政（県の障害福祉課）からの講演と実践している OT を検討中。

第 51 回学術研修会について

- ・日程：平成 27 年 3 月 8 日（日）。佐城地区担当。テーマは介護保険改定や地域ケア会議を視野に入れ、生活行為向上マネジメントと他職種連携。講師は今後検討していく。

3) 県士会役員選挙について（島ノ江選挙管理委員長より報告）

理事 9 名および監事 2 名の立候補者あり。

4) 機関紙編集委員会（藤原機関誌編集委員より報告）

作業療法佐賀 NO3 は校正が終わり、1 月末の発刊に向けて準備中。

5) その他

- ・コミュニケーションエイド、伝の心（重度障害者意思伝達装置）の研修会を 2 月 1 日（土）～2 日（日）に河畔病院にて開催。
- ・WFOT 学会への寄付金について。各県士会から寄付を行う予定であるが、金額などは未定。決定次第寄付していく。
- ・財務部にて会計ソフトを購入する。

次回、運営部会 3 / 11（火）予算総会後 19：30～

災害リハビリテーションコーディネーター研修会

主催：大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会

Japan Rehabilitation Assistance Team (JRAT)

東日本大震災において、リハビリテーション関連諸団体で組織的な支援活動を行なうため、「旧 東日本大震災リハビリテーション支援関連 10 団体」として、リハビリテーション支援体制を構築し、被災者の支援、特に災害弱者である高齢者、障害児・者のリハビリテーション医療支援、生活支援、廃用症候群・二次障害の予防に向けて、避難所支援等を実施してきた。一方、これらの活動を通して、災害発生早期から災害対応リハビリテーション活動を組織的に実行する体制を、平時より構築しておく必要性を強く認識し、このたび団体名称を「大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会」へと変更した。

当団体としては、我が国で起こりうる様々な災害に対し、関連職種が共同して災害リハビリテーションを行う体制を整えることを目的とし、第1回目の災害リハビリテーション・コーディネーター研修会を昨年度開催した。研修会においては、都道府県ごとに自身の地域で起こりうる災害を想定した体制を事前に計画策定していくこと、被災地域において行政・医療機関と共同して災害リハビリテーションチーム支援を行うこと、さらにはコーディネーターとしての役割を担える人材の育成を目指している。

このため、本研修会は都道府県ごとに医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、介護支援専門員、義肢装具士、災害対策等の行政職員、を含めた多職種のチームを編成・参加をお願いする。

佐賀県内の参加者：

医師（好生館＜災害拠点病院＞）、理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会

* 他県は看護、行政からの参加もあり

研修内容は、DMAT、東日本大震災での支援を通しての直接支援、後方支援に関すること、行政の取り組みなどについてであった。

今後、災害時のリハ支援体勢の構築が求められ、日頃より関連職種とのパイプの構築と、災害拠点病院（好生館、佐賀大学）に所属する作業療法士に協力を依頼し、災害対策委員会等の組織の立ち上げが求められる。ただし、現在、行政がどのように企画しているのが、不明なため、医師より現状確認をして頂いている状況である。